



仕事可視化

Google カレンダー 連携設定マニュアル

第 1.0 版

作成：MITERAS 仕事可視化サポート

作成日：2023 年 6 月 29 日

更新日：2023 年 6 月 29 日

はじめに

Google カレンダー連携機能の利用に伴う前提条件および設定概要・手順を記載します。

変更履歴

日付	担当者	版数	変更内容
2023/6/29	MITERAS 仕事可視化サポート	1.0	初版
2024/4/8	MITERAS 仕事可視化サポート	1.1	Google Workspace、Google Cloud platform の画面デザイン変更に伴い、参考がスクリーンショットを更新

目次

はじめに	1
変更履歴	1
目次.....	2
前提条件	3
設定概要	3
設定手順	4
プロジェクトの新規作成	4
サービスアカウントの新規作成.....	6
サービスアカウントキーの新規作成.....	10
Google Calendar API の有効化.....	13
カレンダー情報へのアクセス権限付与	16
設定削除手順	18
Google Workspace のカレンダー連携設定削除.....	18
Google Cloud Platform のカレンダー連携設定削除	21
サービスアカウント削除.....	21
プロジェクト削除.....	24

前提条件

Google カレンダー連携の利用時の前提条件を記載します。

- ✓ ジョブレポートまたはスタンダードプランをご契約していること
- ✓ Google Workspace のカレンダー機能を利用していること
- ✓ Google Workspace のカレンダー情報を取得に当たり、Google Workspace のカレンダー情報の読み取り権限を MITERAS 仕事可視化へ付与可能であること

設定概要

Google カレンダー連携の利用に伴う設定概要を記載します。

- ① Google Cloud Platform にて新規プロジェクトを登録します。
- ② Google Calendar API 利用時に使用するサービスアカウントを作成します。
- ③ API 利用時のサービスアカウントの認証用の鍵ファイルを作成します。
- ④ Google Calendar API を有効化します。
- ⑤ サービスアカウントから Google Workspace へのカレンダー情報のアクセス権限の付与をします。

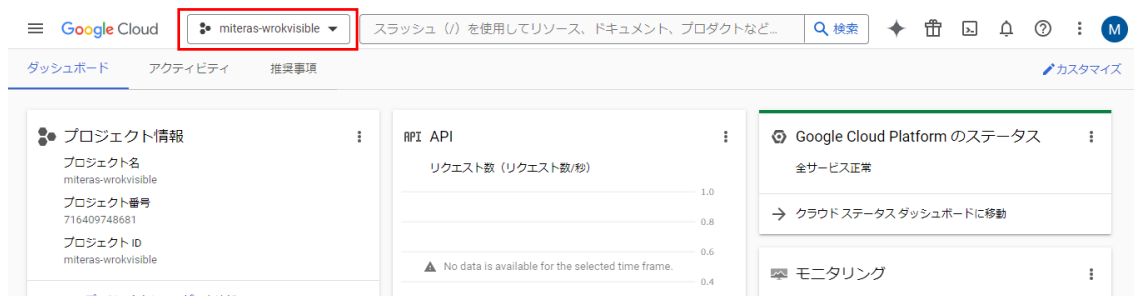
設定手順

Google カレンダー連携に伴い、Google Cloud Platform・Google Workspace にて以下手順を実施します。

プロジェクトの新規作成

Google Workspace に登録されている Google カレンダー情報を参照するためには、Google Cloud Platform で Google Calendar API を利用するためのプロジェクト新たに作成する必要があります。以下にプロジェクトの新規作成手順を記載します。

- ① 「Google Cloud Platform」画面上部より「リソースを選択」画面を開きます。



- ② 「リソースを選択」画面にて「新しいプロジェクト」をクリックします。



- ③ 「新しいプロジェクト」画面にて「プロジェクト名」に任意のプロジェクト名を入力し、「作成」をクリックし、プロジェクト作成完了のメッセージが表示されることを確認します。

Google Cloud スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プロダクトなどを検索

新しいプロジェクト

プロジェクト名 *
miteras-wv-calender-dummytest

プロジェクト ID: miteras-wv-calender-dummytest 後で変更することはできません。
[編集](#)

組織 *
test.miteras.jp

プロジェクトに関連付ける組織を選択します。この選択を後で変更することはできません。

場所 *
test.miteras.jp [参照](#)

親組織またはフォルダ

[作成](#) キャンセル

Google Cloud miteras-wv-calender-dummytest スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プロ...

ダッシュボード アクティビティ 推奨事項 通知 カスタマイズ

プロジェクト情報

- プロジェクト名
miteras-wv-calender-dummytest
- プロジェクト番号
558655005532
- プロジェクト ID
miteras-wv-calender-dummytest

[このプロジェクトにユーザーを追加](#)

→ プロジェクト設定に移動

リソース

- BigQuery
データウェアハウス / 分析
- SQL
マネージド MySQL、PostgreSQL、SQL Server
- Compute Engine

API API

リクエスト数 (リクエスト数/秒)

No data is available for the selected time frame.

→ API の概要に移動

プロジェクト「miteras-wv-calender-dummytest」を作成
[プロジェクトを選択](#)

すべてのアクティビティを表示

モニタリング

- マイダッシュボードを作成する
- アラートポリシーを設定する
- 稼働時間チェックを作成する

すべてのダッシュボードを表示

→ [モニタリング] に移動

組織「test.miteras.jp」のプロジェクト「miteras-wv-calender-dummytest」を表示しています。

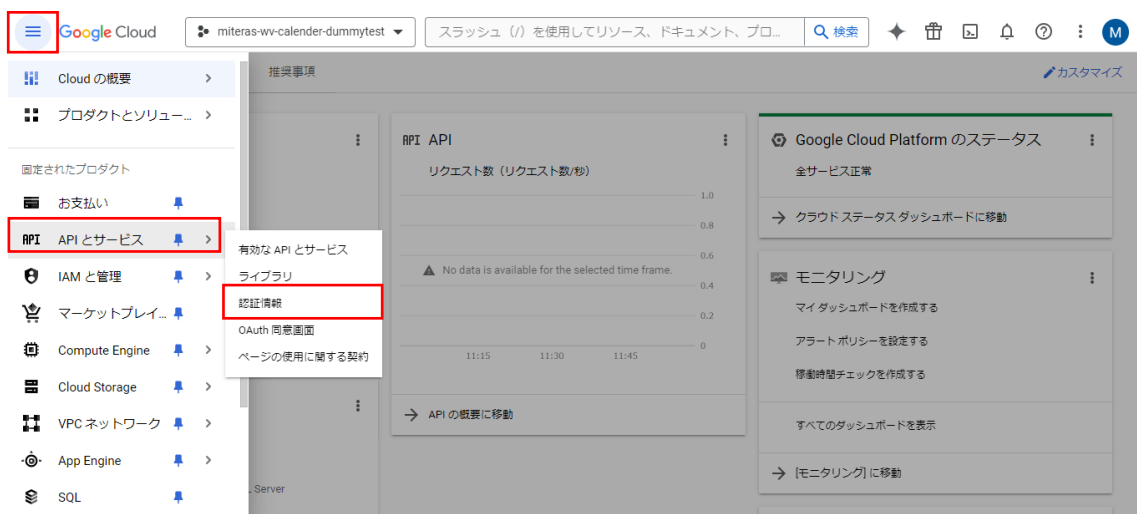
サービスアカウントの新規作成

プロジェクトに設定する Google Calendar API は、専用のアカウント（以降サービスアカウント）でプロジェクトにアクセスし Google Calendar API を実行します。以下にサービスアカウントの新規作成手順を記載します。

- ① 「Google Cloud Platform」画面上部より「リソースを選択」画面を開きます。
[新規プロジェクト作成](#)で作成したプロジェクトを選択し「開く」をクリックします。



- ② 「Google Cloud Platform」画面にて「API とサービス」メニューより「認証情報」をクリックします。



- ③ 「認証情報」画面にて「+証明情報を作成」をクリックします。

Google Cloud | miteras-wv-calender-dummytest | スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プロ...

ナビゲーションメニュー

- 有効な API とサービス
- ライブラリ
- 認証情報**
- OAuth 同意画面
- ページの使用に関する契約

認証情報

+ 認証情報を作成 | 削除 | 削除した認証情報を復元

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

必ず、アプリケーションに関する情報を使用して OAuth 同意画面を構成してください。 [同意画面を構成](#)

API キー

☐	名前	作成日 ↓	制限	操作
表示する API キーがありません				

OAuth 2.0 クライアント ID

☐	名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	操作
表示する OAuth クライアントがありません					

サービス アカウント [サービスアカウントを管理](#)

☐	メール	名前 ↑	操作
表示するサービス アカウントがありません			

- ④ 「認証情報」画面にて「サービスアカウント」をクリックします。

Google Cloud | miteras-wv-calender-dummytest | スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プロ...

API | API とサービス

- 有効な API とサービス
- ライブラリ
- 認証情報**
- OAuth 同意画面
- ページの使用に関する契約

認証情報

+ 認証情報を作成 | 削除 | 削除した認証情報を復元

有効な API にアクセス

必ず、ア

API キー

API キー
サンプル API キーを使用してプロジェクトを識別し、割り当てとアクセスを確認します

OAuth クライアント ID
ユーザーのデータにアクセスできるようにユーザーの同意をリクエストします

サービス アカウント
ロボット アカウントによるサーバー間でのアプリレベルの認証を有効にします

ウィザードで選択
使用する認証情報の種類を決定するため、いくつかの質問をします

OAuth 2.0 クライアント ID

☐	名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	操作
表示する OAuth クライアントがありません					

サービス アカウント [サービスアカウントを管理](#)

☐	メール	名前 ↑	操作
表示するサービス アカウントがありません			

⑤ 「サービスアカウントの詳細」画面にて以下を入力し「作成して実行」をクリックします。

- サービスアカウント名：任意のアカウント名（表示名）
- サービスアカウント ID：任意のアカウント名
- サービスアカウントの説明：サービスアカウントの説明

Google Cloud | miteras-wv-calender-dummytest | スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プロ...

IAM と管理 | サービス アカウントの作成

1 サービス アカウントの詳細

サービス アカウント名
MITERAS仕事可視化のカレンダー情報取得アプリ

このサービス アカウントの表示名

サービス アカウント ID *
miteras-wv-calender-test

メールアドレス: miteras-wv-calender-test@miteras-wv-calender-dummytest.iam.gserviceaccount.com

サービス アカウントの説明
MITERAS仕事可視化のカレンダー連携機能にて、Googleカレンダー予定表取得
このサービス アカウントで行うことを説明します

作成して実行

⑥ 「完了」をクリックします。

Google Cloud | miteras-wv-calender-dummytest | スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プロ...

IAM と管理 | サービス アカウントの作成

2 このサービス アカウントにプロジェクトへのアクセスを許可する (省略可)

このサービス アカウントに miteras-wv-calender-dummytest へのアクセス権を付与して、プロジェクト内のリソースに対する特定のアクションを完了する権限を付与します。 [詳細](#)

ロールを選択 IAM の条件 (省略可) + IAM の条件を追加

+ 別のロールを追加

続行

3 ユーザーにこのサービス アカウントへのアクセスを許可 (省略可)

完了 キャンセル

※「サービスアカウント作成」画面の②・③については個別設定が必要な場合は設定下さい。MITERAS 仕事可視化を利用する上で必須設定ではありません。

参考 URL : https://cloud.google.com/iam/docs/manage-access-service-accounts?hl=ja&_ga=2.69814672.-1647685118.1677671480

- ⑦ 「認証情報」画面にてサービスアカウントが作成されていることを確認します。

Google Cloud

miteras-wv-calender-dummytest

スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プロ...

検索

API とサービス

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

認証情報

+ 認証情報を作成

削除

削除した認証情報を復元

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

必ず、アプリケーションに関する情報を使用して OAuth 同意画面を構成してください。 [同意画面を構成](#)

API キー

☐	名前	作成日 ↓	制限	操作
表示する API キーがありません				

OAuth 2.0 クライアント ID

☐	名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	操作
表示する OAuth クライアントがありません					

サービス アカウント [サービスアカウントを管理](#)

☐	メール	名前 ↑	操作
☐	miteras-wv-calender-test@miteras-wv-calender-dummytest.iam.gserviceaccount.com	MITERAS仕事可視化のカレンダー情報取得アプリ	編集 削除

サービスアカウントキーの新規作成

サービスアカウントがプロジェクトにアクセスし Google Calendar API を実行する際に認証が行われます。認証には専用の鍵ファイル（以降サービスアカウントキー）が必要になります。以下にサービスアカウントキーの新規作成手順を記載します。

- ① 「認証情報」画面より [サービスアカウントの新規作成](#) で作成したサービスアカウントを選択します。



- ② 選択したサービスアカウントの画面にてタブ「キー」を選択し「鍵を追加」をクリックします。

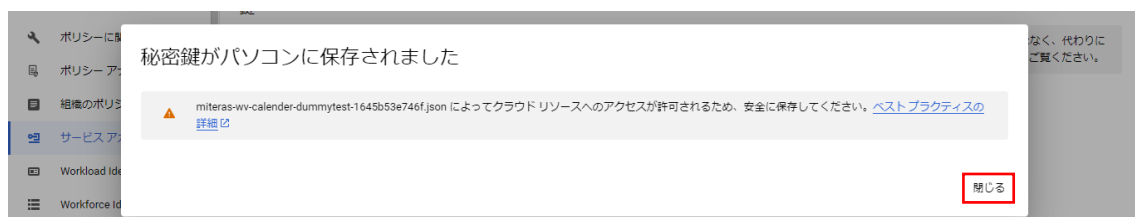
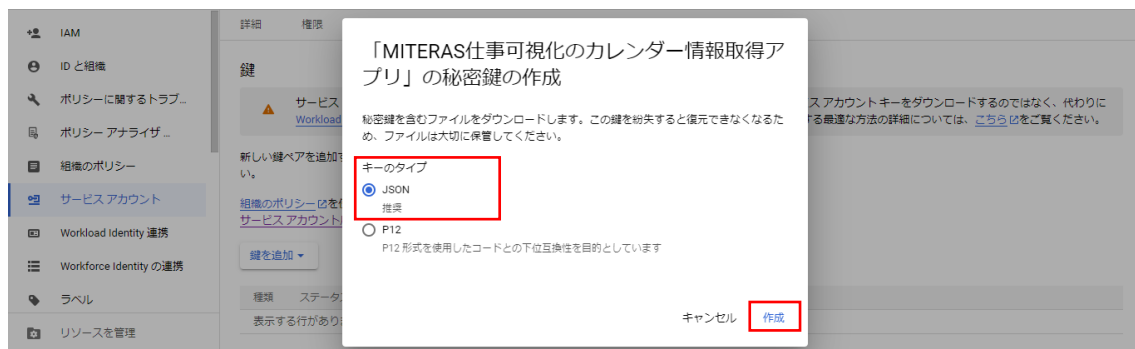


- ③ 「新しい鍵を作成」をクリックします。



- ④ 秘密鍵の作成画面の「キーのタイプ」で以下を選択し「作成」をクリックします。
「秘密鍵がパソコンに保存されました」とメッセージが表示されたら「閉じる」をクリックします。保存された JSON ファイルは大切に保管して下さい。

➤ キーのタイプ：JSON



※保存された JSON ファイルは MITERAS 仕事可視化サポートまでご連絡下さい。
MITERAS 仕事可視化よりカレンダー情報を取得する際に利用します。

- ⑤ [サービスアカウントの新規作成](#)で作成したサービスアカウントの画面にて「詳細」をクリックし、「一意の ID」を確認します。この「一意の ID」は[カレンダー情報へのアクセス権限付与](#)の手順で利用します。



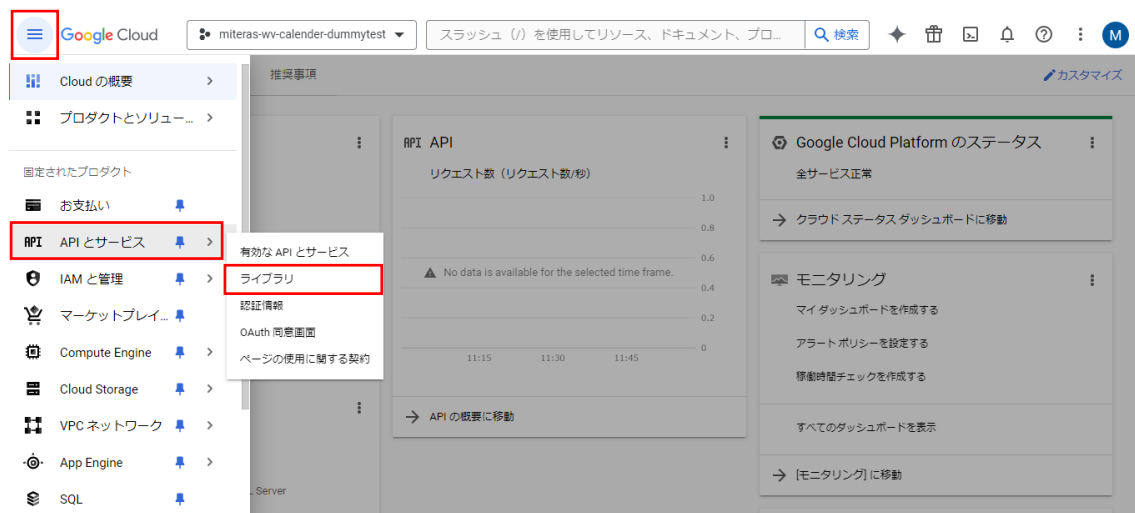
Google Calendar API の有効化

Google Workspace から Google カレンダー情報を取得するためには、作成したプロジェクト上で Google Calendar API を有効化する必要があります。以下に Google Calendar API の有効化手順を記載します。

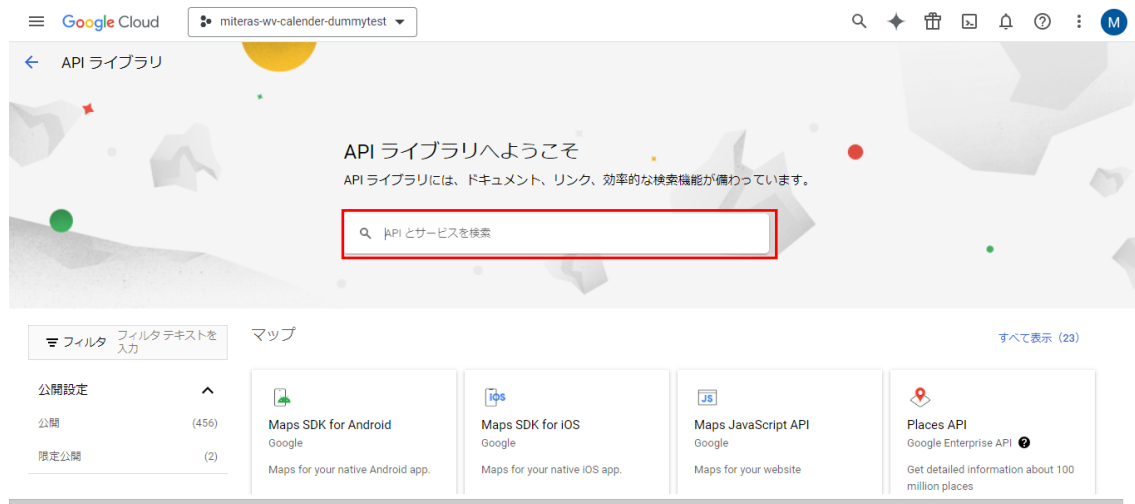
- ① 「Google Cloud Platform」画面上部より「リソースを選択」画面を開きます。
[新規プロジェクト作成](#)で作成したプロジェクトを選択し「開く」をクリックします。



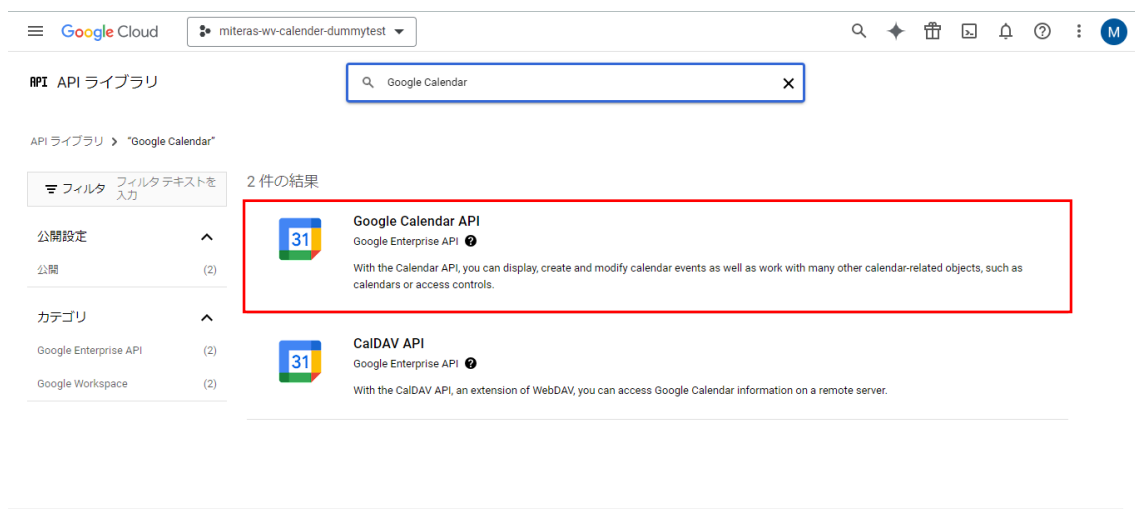
- ② 「Google Cloud Platform」画面にて「API とサービス」メニューより「ライブラリ」をクリックします。



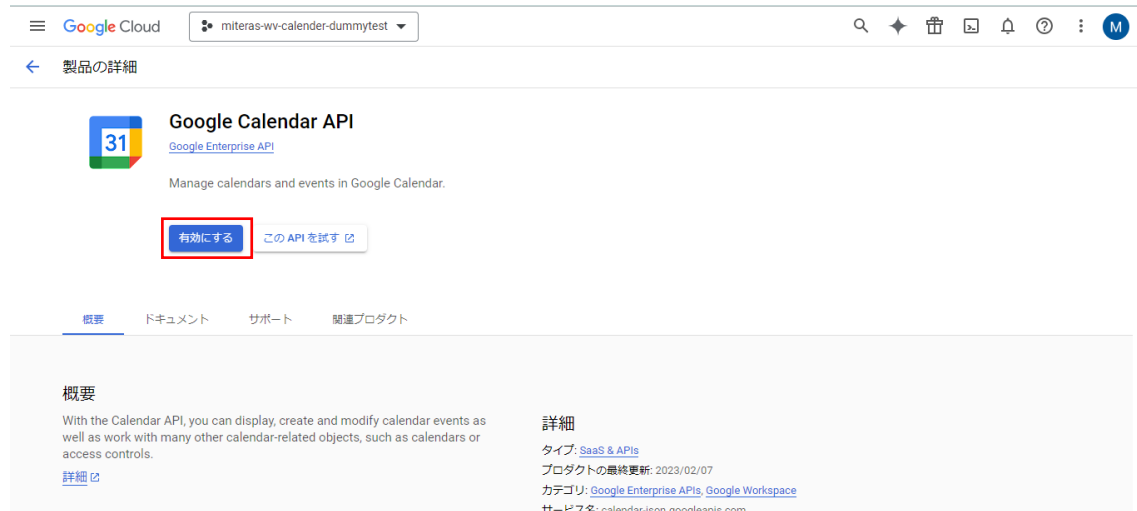
- ③ 「API ライブラリへようこそ」画面の検索ボックスにて「Google Calendar」と入力します



- ④ 「Google Calendar API」が検索結果に表示されたらクリックします。



- ⑤ 「Google Calendar API」画面にて「有効にする」をクリックし、「API が有効です」というメッセージが表示されることを確認します。



The screenshot shows the Google Cloud console interface. At the top, the Google Cloud logo and a search bar are visible. Below the search bar, the page title is '製品の詳細' (Product details). The main content area displays the 'Google Calendar API' with a sub-header 'Google Enterprise API'. A description states 'Manage calendars and events in Google Calendar.' Below this, there are two buttons: '有効にする' (Enable) and 'この API を試す' (Try this API). The '有効にする' button is highlighted with a red box. Below the buttons, there are tabs for '概要' (Overview), 'ドキュメント' (Documentation), 'サポート' (Support), and '関連プロダクト' (Related products). The '概要' tab is selected, showing a summary of the API's capabilities and a '詳細' (Details) section with links to 'タイプ: SaaS & APIs', 'プロダクトの最終更新: 2023/02/07', 'カテゴリ: Google Enterprise APIs, Google Workspace', and 'サードパーティー: calendar-json.googleapis.com'.



The screenshot shows the Google Cloud console interface. At the top, the Google Cloud logo and a search bar are visible. Below the search bar, the page title is 'API とサービス' (APIs & Services). The left sidebar shows a menu with '有効な API とサービス' (Enabled APIs & Services) selected. The main content area displays the 'Google Calendar API' with a sub-header 'The Google Calendar API lets you manage your calendars and events.' Below this, there are two buttons: '有効にする' (Enable) and 'この API を試す' (Try this API). The '有効にする' button is highlighted with a red box. Below the buttons, there are tabs for '概要' (Overview), '割り当てとシステム上限' (Quotas and system limits), and '認証情報' (Credentials). The '概要' tab is selected, showing a summary of the API's capabilities and a '詳細' (Details) section with links to 'タイプ: SaaS & APIs', 'プロダクトの最終更新: 2023/02/07', 'カテゴリ: Google Enterprise APIs, Google Workspace', and 'サードパーティー: calendar-json.googleapis.com'. Below the details section, there are filters for 'Versions' (v1, v3, v3internal), 'Credentials' (MITERAS仕事可視化のカ...', and 'Methods' (111 個のオプションが選...). At the bottom, there is a section for 'レスポンスコード別のトラフィック' (Traffic by response code).

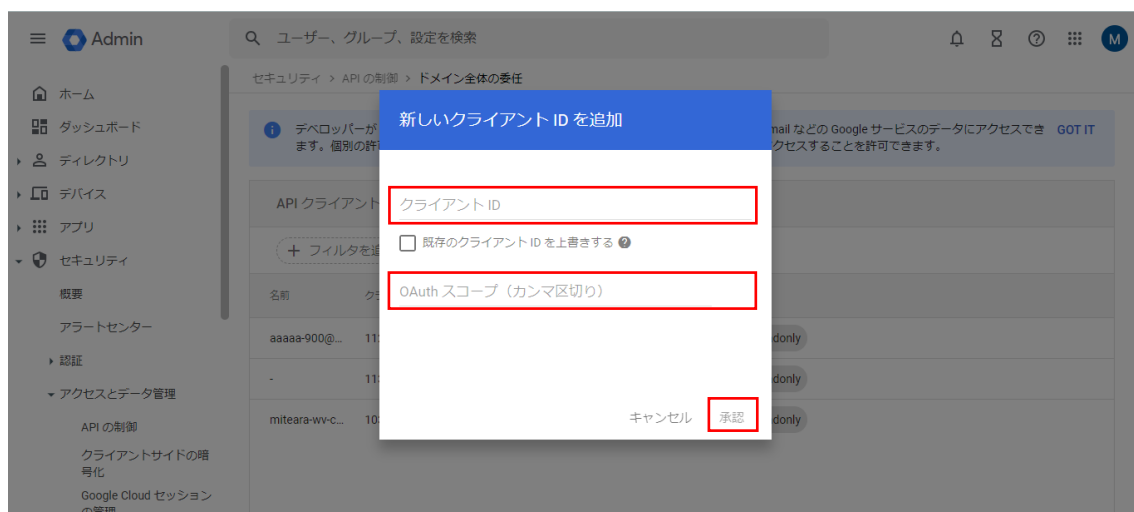
カレンダー情報へのアクセス権限付与

Google Workspace に登録されているカレンダー情報を、Google Cloud Platform で作成したサービスアカウントから参照するためにアクセス権限付与を行う必要があります。以下にスケジュール情報への API アクセス許可設定手順を記載します。

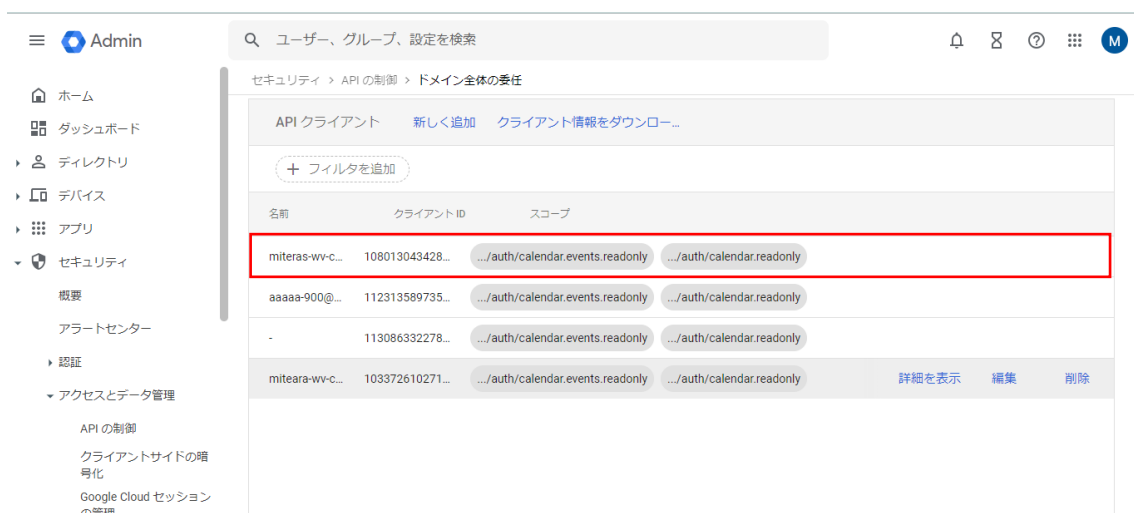
- ① 「Google Workspace」の画面にて「セキュリティ」→「アクセスとデータ管理」→「API の制御」をクリックします。「API の制御」画面にて「ドメイン全体の委任を管理」をクリックします。



- ② 「新しいクライアント ID を追加」画面が表示されるので以下を入力し「承認」をクリックします。
- クライアント ID: [サービスアカウントキーの新規作成](#)の手順で確認した「一意の ID」を入力します。
 - OAuth スcope (カンマ区切り) : 以下の 2 つの URL を入力します。
 - <https://www.googleapis.com/auth/calendar.events.readonly>
 - <https://www.googleapis.com/auth/calendar.readonly>



- ③ 「ドメイン全体の委任」画面で設定した権限が登録されていることを確認します。



設定削除手順

Google カレンダー連携利用停止する場合に Google Cloud Platform ・ Google Workspace の以下削除を実施します。

Google Workspace のカレンダー連携設定削除

Google カレンダー連携利用停止に伴い[カレンダー情報へのアクセス権限付与](#)で付与した権限を削除する必要があります。以下に権限付与設定の削除手順を記載します。

- ① 「Google Workspace」の画面にて「セキュリティ」→「アクセスデータの管理」→「API の制御」をクリックします。「API の制御」画面にて「ドメイン全体の委任を管理」をクリックします。



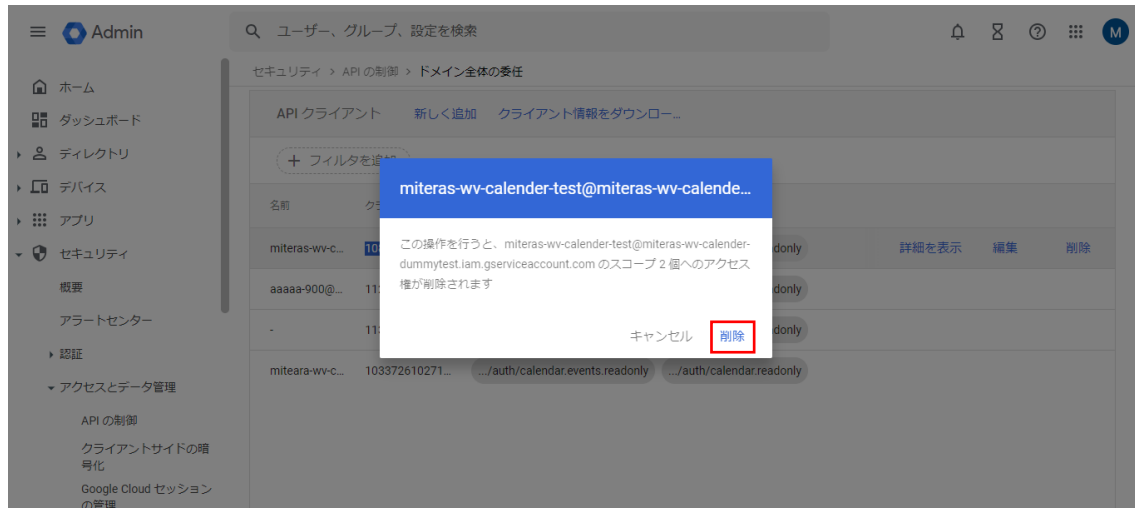
- ② 「ドメイン委任の管理」画面にて削除対象の「クライアント ID」を確認し「削除」をクリックします。

The screenshot shows the Google Admin console interface. On the left is a navigation menu with options like 'Admin', 'ホーム', 'ダッシュボード', 'ディレクトリ', 'デバイス', 'アプリ', 'セキュリティ', 'アラートセンター', '認証', and 'アクセスとデータ管理'. The main content area is titled 'セキュリティ > API の制御 > ドメイン全体の委任'. A blue information banner at the top states: 'デベロッパーが Google に登録したウェブ アプリケーションや他の API クライアントで、Gmail などの Google サービスのデータにアクセスできます。 GOT IT'.

Below the banner, there's a section for 'API クライアント' with links for '新しく追加' and 'クライアント情報をダウンロード...'. A '+ フィルタを追加' button is also present. A table lists the API clients with columns for '名前', 'クライアント ID', and 'スコープ'. The first row, for 'miteras-wv-c...', has its 'クライアント ID' '108013043428...' highlighted with a red box. The 'Delete' button in the actions column of this row is also highlighted with a red box.

名前	クライアント ID	スコープ	アクション
miteras-wv-c...	108013043428...	.../auth/calendar.events.readonly .../auth/calendar.readonly	詳細を表示 編集 削除
aaaaa-900@...	112313589735...	.../auth/calendar.events.readonly .../auth/calendar.readonly	
-	113086332278...	.../auth/calendar.events.readonly .../auth/calendar.readonly	
miteara-wv-c...	103372610271...	.../auth/calendar.events.readonly .../auth/calendar.readonly	

- ③ 削除確認画面が表示される「削除」をクリックします。削除後に「ドメイン委任の管理」画面にて削除対象の「クライアント ID」が表示されていないことを確認します。



Google Cloud Platform のカレンダー連携設定削除

Google カレンダー連携利用停止に伴い[サービスアカウントの新規作成](#)、[プロジェクトの新規作成](#)で作成したサービスアカウント・プロジェクトを削除する必要があります。

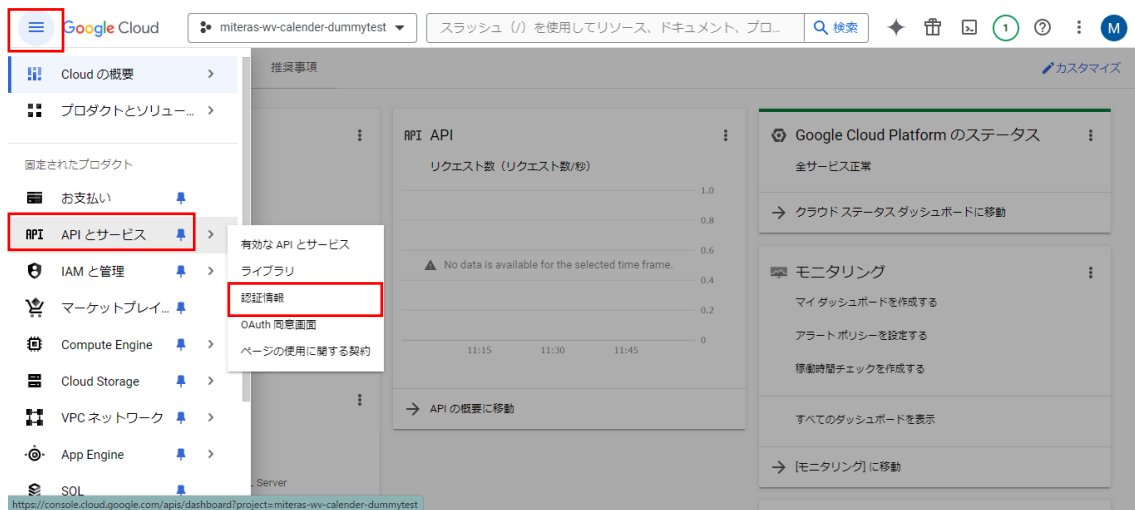
以下にサービスアカウント・プロジェクトの削除手順を記載します。

サービスアカウント削除

- ① 「Google Cloud Platform」画面上部より「リソースを選択」画面を開きます。
[プロジェクトの新規作成](#)で作成したプロジェクトを選択し「開く」をクリックします。



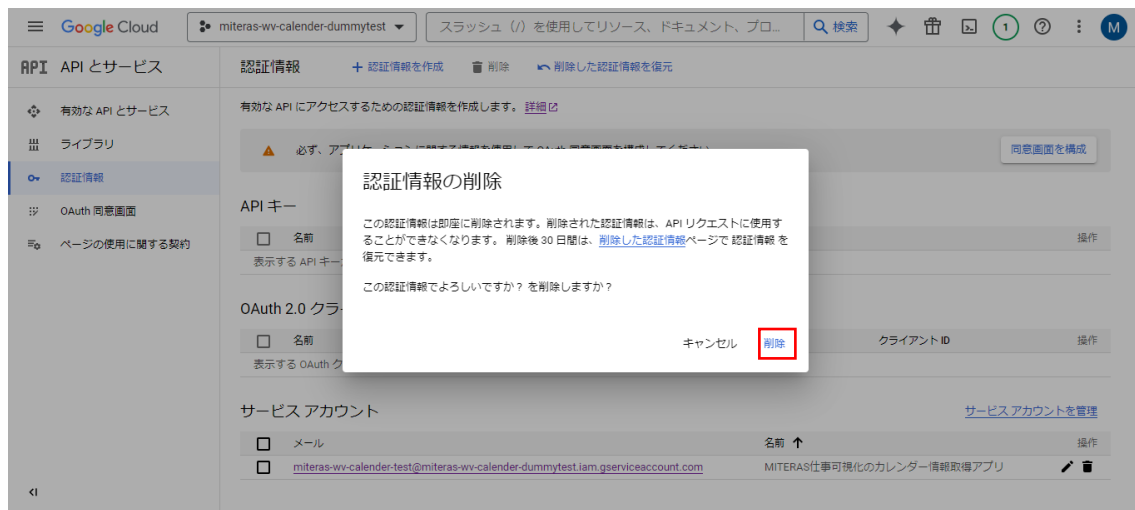
- ② 「Google Cloud Platform」画面にて「API とサービス」メニューより「認証情報」をクリックします。



③ 削除対象の「サービスアカウント」を確認し「」をクリックします。



④ 「認証情報の削除」画面が表示されたら「削除」をクリックします。
削除後に削除対象のサービスアカウントが削除されていることを確認します。

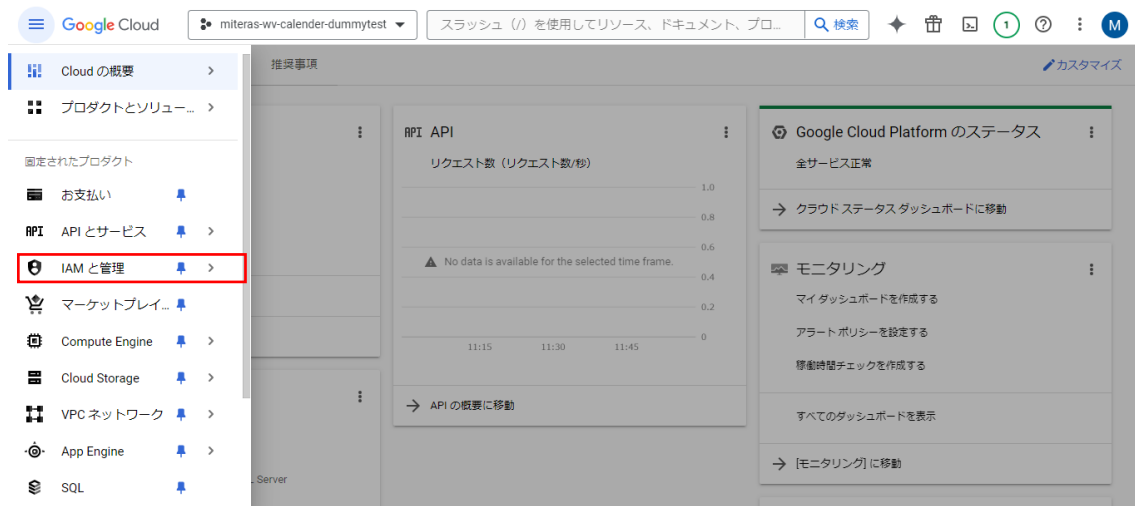


プロジェクト削除

- ① 「Google Cloud Platform」画面上部より「リソースを選択」画面を開きます。
[新規プロジェクト作成](#)で作成したプロジェクトを選択し「開く」をクリックします。



- ② 「Google Cloud Platform」画面にて「IAM と管理」をクリックします。



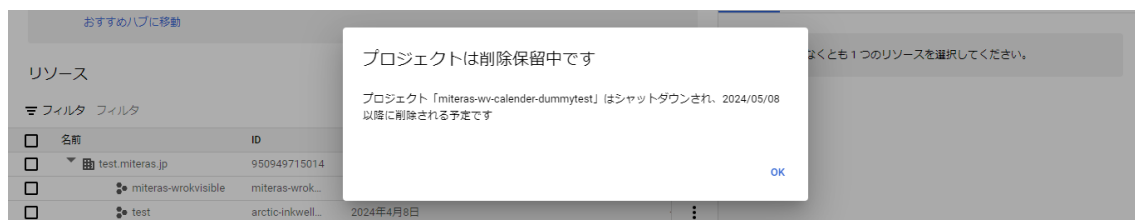
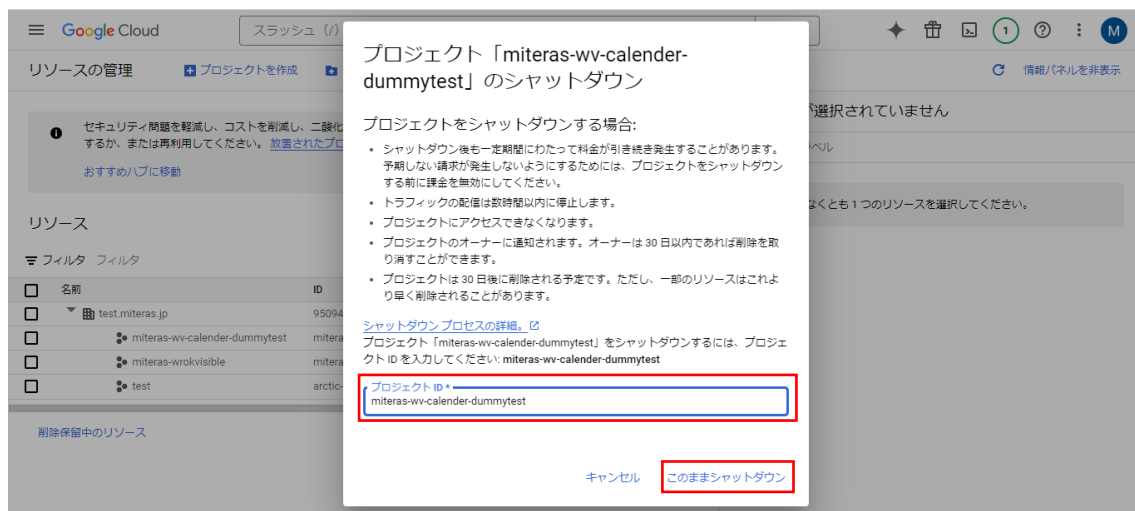
- ③ 「Google Cloud Platform」画面にて「リソースを管理」をクリックします。



- ④ 「リソースの管理」画面にて削除対象のプロジェクトを選択し「:」をクリックします。
メニューに「削除」が表示されるのでクリックします。



- ⑤ プロジェクトのシャットダウン画面が表示されるので、削除対象の「プロジェクト ID」を入力し「このままシャットダウン」をクリックします。
- 「プロジェクトは削除保留中です」画面が表示されたら「OK」をクリックします。



- ⑥ 「リソースの管理」画面に削除対象プロジェクトが存在しないことを確認します。



-EOF-